

## 令和6年度第2回高知県食育連携推進協議会 議事要旨

日 時：令和7年2月17日（月）午後2時30分～午後4時30分

場 所：高知城ホール 2階 大会議室

方 法：対面とオンライン（Zoom）の併用開催

出席者：出席10名、事務局13名

### ○協議事項

- （1）第4期高知県食育推進計画の進捗状況について
- （2）その他

### ○議事等概要

- （1）第4期高知県食育推進計画の進捗状況について

事務局から資料1、資料2、資料3をもとに第4期高知県食育推進計画の進捗状況について説明を行った。

#### [内容等]

##### ■第1節 高知家の未来を担う子どもの食育の推進について

- ・委員から、小中学校で児童・生徒に対して朝食に関するアンケートを実施しており、毎日朝食を食べる割合は、昨年度と今年度ではほぼ横ばいの状況。毎日朝食を食べる食べるために必要なことの設問には、早寝早起きとの回答が子ども達から多くあがってきている。朝食摂取のためには、生活リズム全体を整えていくことが必要であり、そのためには学校の中で連携しながら取り組んでいく必要があるとの意見があった。

##### ■第2節 健康長寿を実現する食育の推進

- ・委員から、県栄養士会では今年度は県民公開講座を大人に向けた食育をテーマに開催したことや、歯科医師会、歯科衛生士会、栄養士会が連携してライフステージごとに健康づくりを進める啓発資料を作成中との報告があった。

##### ■第3節 持続可能な食の理解と継承

- ・委員から、郷土料理伝承講座は、一般の方や子どもを持つ保護者の方等が受講すると料理を作る楽しみや地場産物の良さを知ることができ、地産地消につながっていくため、ぜひ対象を広げてほしいとの意見があった。また、地域の中で伝承料理を継承する人がいることが一番いいが、郷土料理伝承講座に参加した方が伝承料理を知り、伝承料理を作る人が増えていくということなので、そうした広がりがあってもよいのではないかという意見があった。
- ・委員から、JAでは国民が必要とし消費する食料はできるだけその国で生産するという「国産国消」の取組を進めているほか、地産地消の推進、地域農業の情報発信、生産者と消費者との交流を図っているとの報告があった。

- ・委員から、量販店では年４回の郷土料理講習会の開催のほか、ローリングストックの広報や災害時の調理レシピの配布など、毎月テーマに合わせた食育活動を行っている旨の報告があった。

#### ■第４節 食を育む環境づくり

- ・委員から、全国保育士会研究大会が高知で開催され、保育士・栄養士・調理員が参加し、食育の重要性を共有し、食育推進の体制整備や職員の意識向上、質の向上に努めたことの報告があった。
- ・委員から、学校給食は子ども達にとって、食を通して、様々な人と関わりながら地域や社会と関わっていく入り口であり、食育はいろいろな関係者の助力があり、実施できていることを実感している。食育の継続的な取組のためには、関係機関の方々といかに連携していくかが今後の課題であるという意見があった。

#### ■第１節から第４節における食育の推進について

- ・事務局から、「朝食を毎日食べる児童・生徒の割合」が令和６年度すべて上昇しており、特に小学５年生男子については全国平均を超えるなど、こうした結果は、関係者の方々の尽力の結果と考えている。今後も本会議の場で協議し、連携して取組を進めていくためにご協力いただきたい旨を述べた。
- ・委員から、朝食欠食について、改善が必要ないと考えている子どももあり、学校では個別指導もできるが、親世代への啓発が重要と感じている。ぜひ、関係者の方々の力も借りて親世代への啓発にご協力いただきたいとの意見があった。
- ・委員から、食育講座を村で実施しているが、参観日などを利用し親子で受講をお願いしており、保護者の参加も重要である旨の意見があった。
- ・事務局から、来年度は健康チャレンジ事業に「朝食摂取」を加えて、壮年期世代に啓発を行う予定。まずは、朝食を摂らないといけないという意識を持ってもらうことから啓発するほか、ヘルスメイトの食育講座も学校との連携のもと、実施していくことを述べた。
- ・委員から、家庭で朝食の用意ができていなくても、子どもが自分でも作って食べられるような取組も併せて実施できたらいいのではという意見があった。

⇒第４期高知県食育推進計画の進捗状況について共有し、今年度の取組は本協議会で承認された。

## (２) その他

事務局から参考資料をもとに、令和６年度「食育月間」等の取組調査の報告を行った。

以上で会議を終了した。